



校長 佐々木 希久子

## 後期・新生生徒会本部役員会がスタートしています

学校の柱が3年生から2年生にバトンタッチされ、1、2年生がメンバーとなりました。新本部役員会のスローガンは「Challenge～一つになって前に進もう～」です。このスローガンには新しいことにチャレンジすることはもちろん、今までの港南中学校の伝統、それは、「元気なあいさつ」や「きれいな校舎」、「行事に燃える」の三つが最も代表的なものですが、これら、伝統についてもチャレンジしていく、皆で一緒に、一致団結してチャレンジしていくことで、さらに、伝統をよりよいものにしていこうという気概にあふれたスローガンです。これからどんな1年にしてくれるのか、とても楽しみです。大いに期待したいです。



## ふれあい月間

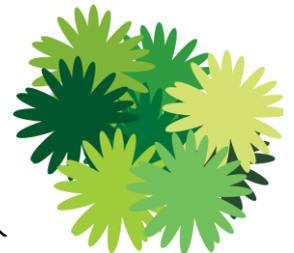
11月は「ふれあい月間」です。ふれあい月間は、6月、11月、2月と、年に3回あります。ふれあい月間は「いじめ防止月間」です。

いじめをしてはいけません。いじめに加わってはいけません。いじめを黙って見てはいけません。嫌がらせやかからかい、暴言や暴力も同じです。決してしてはいけません。

人の心、身体を傷付けたり怪我をさせたりしてはいけません。人の持ち物を取ったり、壊したり、なくしたり、捨てたりといったことをしてはいけません。許可なく触ることも同じです。

特に気をつけてほしいのは、黙って見ていることはいけないということです。いじめの場面を見たら、「やめなよ」と、注意してほしいと切に願います。

しかし、注意するのがいいと分かっているけど、なかなかできないという人は、こっそり先生や家族に教えてください。嫌な思いをしている人を一人でも多く助けたいと考えているからです。それに、いじめをしている人も助けたいと考えています。大人に知られることなくいじめを続ける人は、周囲の人から見れば決して良い人ではないでしょう。そのような人を友人として頼ったり、信頼することは難しいでしょう。できるだけ早い段階でやめさせて、いじめをしない人にならなければならないことが大切です。日常の学校生活を送る上でも、学習活動や行事で協力し合うのにも、誰のこともいじめない人と一緒にしたいのではないのでしょうか。何より、近くにいじめられている人がいたらかわいそうだし、そんなの見たくないと思うでしょう。



注意をしてあげたり、大人に相談してもらうことはいじめられている人もいじめている人も助けることになるのです。ふれあい月間は関係なく、港南中生には困っている人を助けられる人になってもらいたいと思いますし、港南中は、いじめのない、誰もが笑顔で学校生活を送れる学校であってほしいです。

## 自転車の交通安全教室

高輪警察署の交通安全課の警察官の方をお招きして実施しました。自転車は免許が必要ないので誰でも乗ることができます。だからこそ、ルールやマナーをしっかりと意識して守ってほしいとのお話がありました。また、視聴したDVDに、「自転車が危険なのではありません。自分は大丈夫という、人の心が危険なのです」ということばがありました。よく考えなければならぬと思いました。

また、講師の方からは、ルール等と併せて、定期的にブレーキの点検をすること、万一、自分が加害者になってしまったとき(故意でなくとも、ルールを守っていてもそういう例はありますとのことです。)のことを考え、保険の加入を検討してみるのもよいでしょうとのお話もありました。ご家庭でご確認をお願いします。